Tokimi Novel Format Reference Version. 2022.5.29

Tabito Kazeno(http://tokimi.sylphid.jp/)





はじめに

本書は文庫本作成ツール・威沙のネイティブフォーマットである TNF(Tokimi Novel Format)についてリファレンスマニュアルです。

各機能タグについてのタグ名称・用途・オプション・記述例・出力例を示しています。

TNF は HTML ライクなタグベースの縦書き小説本作成のためのフォーマットとなっています。

項目	内容		
タグ名	実際に記述するタグの名称を示しています。実際には 『<タグ名> ~ タグ名 』または『<タグ名>』と指定します		
用途	タグ名の次には各タグの説明を記述しています。		
オプション	オプションが指定出来るタグについては、オプション表を記述しています。		
記述例 簡単な記述例を示しています。			
出力例 実際に出力させた場合の結果を画像で示しています。なお、基本的にデンプレートでの結果となります。			

◆ タグ記載形式

タグは以下のように記載します。

基本的にタグは入れ籠にすることができますが、ruby タグなど一部のタグは入れ籠不可となっていますのでご注意ください。

内部要素あり

<tagname option1="..." option2="..." ...>内部要素</tagname>

内部要素無し

<tagname option1="..." option2="..." .../>

◆ サイズ指定単位

フォントサイズなどの値を指定する場合に"単位"をつけることでその値の変更することができます。基本はポイント指定となっています。

※以下の単位指定が可能なオプションには『単位指定可能』と記載しています。

単位	説明
"単位指定無し"	ポイント指定として扱われます。
pt	ポイント指定。
cm	センチメートル指定。
mm	ミリメートル指定。
in	インチ指定。

◆ 色指定

文字・傍線などの色を指定する場合は以下の形式となります。

※以下の指定形式が使用可能なオプションには『カラー指定形式』と記載しています。

指定形式	説明
0.0 ~ 1.0	色をグレースケールで表す形式で、0.0:黒 、1.0:白となります。
	例えば 0.5 とするとグレーになります。
*FFFFFF	000000 ~ FFFFFF の 16 進数を指定します。
#FFFFFF	2桁ずつ切り離して、R(赤) 00 ~ FF :G(緑)00 ~ FF: B(青) 00 ~ FF となります。
	例:
	黒:*000000 赤:*FF0000 緑:*00FF00
	青:*0000FF 黄:*FFFF00 白:*FFFFFF

◆ 文字属性

一部タグには文字属性変更オプション『attribute』が実装されています。

威沙での文字属性とは『文字の処理識別』を意味しており、例えば『句読点(。、)』は行末 での禁則処理や連続約物処理で字詰めなどが行われる文字として識別されています。

この識別を一時的に別の文字へと変更することができるのが『attribute』オプションになります。例えば、段落 2 行目以降の行頭の全角スペースは削除される処理が行われますが、一時的に全角スペースを別の記号と見なすように変更してこの処理を無効にしたり、同様に約物の字詰め処理を無効にしたりできます。

威沙の内部処理的にも double タグによる文字組みを行った際、ベースの文字は全角スペースを使用していますが、こちらも『!(エクスクラメーションマーク)』として内部処理を行うことで、禁則処理が実行されるように実装されています。

※通常、文字属性は『文字』とイコールになっています。

目次

は	じめに	2
1.	文章情報系タグ	7
	1.1. title:タイトル指定	7
	1.2. volume:巻数指定	8
	1.3. writer:執筆者指定	9
	1.4. url:執筆者URL指定	10
	1.5. mail: 執筆者メールアドレス指定	11
	1.6. circle: サークル名指定	12
	1.7. illustrator:挿絵提供者指定	13
	1.8. iurl:挿絵提供者 URL 指定	14
	1.9. imail:挿絵提供者メールアドレス指定	15
	1.10. thanks:協力者指定	
	1.11. edition:改版履歴指定	17
	1.12. cover:カバー指定	
	1.13. frontispiece:口絵指定	19
	1.14. topimage:中表紙背景指定	
	1.15.!: コメントアウト	21
	1.16. printshop:印刷所名指定	22
	1.17. background:背景指定	23
2.	ページ系タグ	25
	2.1. page_title:ページタイトル	25
	2.2. index:目次指定	
	2.3. section: セクション (改丁)	
	2.4. newpage:改ページ	28
	2.5. newstep:改段	28
	2.6. nopagenum:ページ情報非表示	29
3.	文字配置系タグ	30
	3.1. br:改行	30
	3.2. indent: インデント	31
	3.3. margin:行間	32
	3.4. under: 地付き	33

	3.5. spacer: スペーサー	34
	3.6. center:中央配置	35
	3.7. center_page:ページセンターリング	36
4.	ルビ系タグ	38
	4.1. rubymap: ルビマッピング	38
	4.2. ruby: ルビ	40
5.	字飾り系タグ	42
	5.1. fontmap:font タグ定義	42
	5.2. font:フォント設定	44
	5.3. sideline:傍線	47
	5.4. strike:取り消し線	49
	5.5. double:縦中横	51
	5.6. overlap:文字重ね	52
	5.7. stress:傍点	53
	5.8. a:リンク	55
	5.9. number:自動採番	57
	5.10. insnote:割注	60
	5.11. horizontal:縦中横	61
	5.12. style:スタイル指定	63
	5.13. bind:合成指定	65
	5.14. paling:囲	68
	5.15. centerline:中央線描画	71
6.	挿絵系タグ	72
	6.1. img:挿絵指定	72
7.	テンプレート系タグ	78
	7.1. define:定義	78
	7.2. value:定義展開	79
改	版履歴	80

1. 文章情報系タグ

1.1. title: タイトル指定

■ 用途

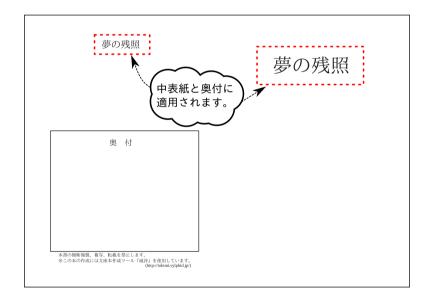
この文書データのタイトルを指定します。

デフォルトテンプレートの場合に右ページのページ番号横へこのタグで指定したタイトルが付与されます。

また、出力設定『付加情報』の『目次・奥付』がONの場合に中表紙・奥付へタイトルが載ります。

■ 記述例

<title>夢の残照</title>



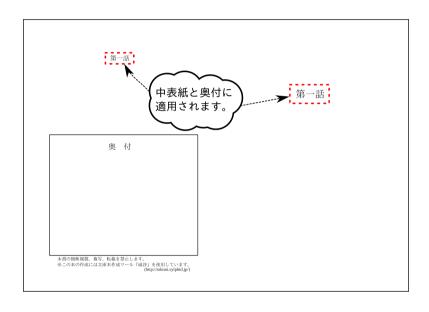
1.2. volume: 巻数指定

■ 用途

1巻・2巻、上巻・下巻などの巻数を指定します。 出力設定『付加情報』の『目次・奥付』がONの場合に中表紙・奥付へ巻数が載ります。

■ 記述例

<volume>第一話</volume>



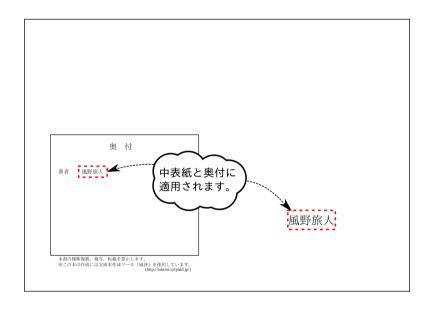
1.3. writer: 執筆者指定

■ 用途

この文書データの作成者を指定します。 出力設定『付加情報』の『目次・奥付』がONの場合に中表紙・奥付へ筆者名が載ります。

■ 記述例

<writer>風野旅人</writer>



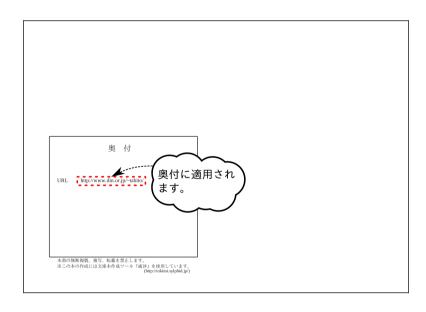
1.4. url: 執筆者URL指定

■ 用途

この文書データを作成した人の URL を指定します。 出力設定『付加情報』の『目次・奥付』が ONの場合に奥付へ URL が載ります。

■ 記述例

<url>http://www.din.or.jp/~tabito/</url>



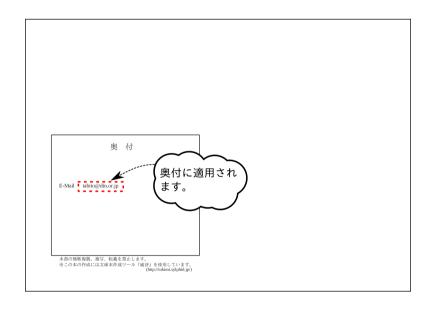
1.5. mail: 執筆者メールアドレス指定

■ 用途

この文書データを作成した人のメールアドレスを指定します。 出力設定『付加情報』の『目次・奥付』がONの場合に奥付へアドレスが載ります。

■ 記述例

<mail>tabito@din.or.jp</mail>



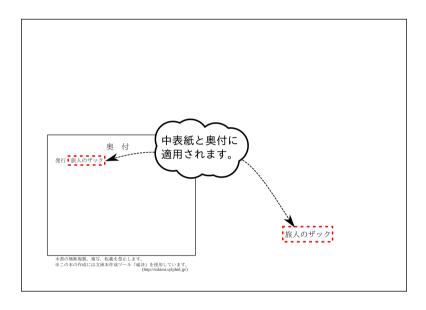
1.6. circle: サークル名指定

■ 用途

サークル名など団体名を指定します。 出力設定『付加情報』の『目次・奥付』がONの場合に中表紙・奥付へ載ります。

■ 記述例

<circle>旅人のザック</circle>



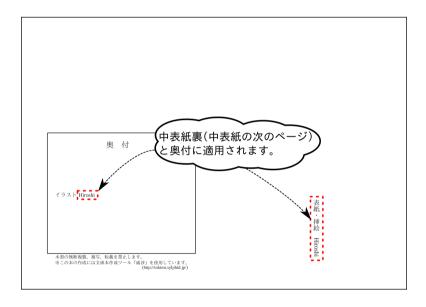
1.7. illustrator: 挿絵提供者指定

■ 用途

挿絵を描いた人の名前を指定します。 出力設定『付加情報』の『目次・奥付』がONの場合に奥付と中表紙裏へ名前が載ります。

■ 記述例

<illustrator>Hiroshi</illustrator>



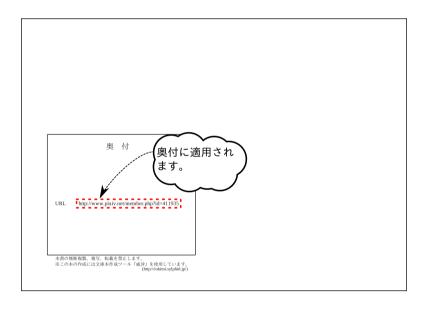
1.8. iurl: 挿絵提供者 URL 指定

■ 用途

挿絵を描いた人の URL を指定します。 出力設定『付加情報』の『目次・奥付』が ONの場合に奥付へ URL が載ります。

■ 記述例

<iurl>http://www.pixiv.net/member.php?id=411935</iurl>



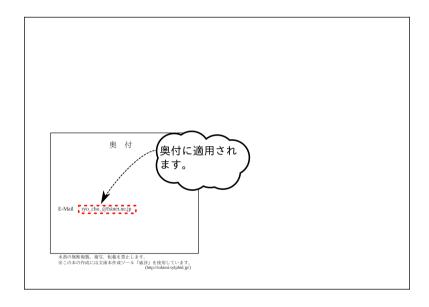
1.9. imail: 挿絵提供者メールアドレス指定

■ 用途

挿絵を描いた人のメールアドレスを指定します。 出力設定『付加情報』の『目次・奥付』がONの場合に奥付へアドレスが載ります。

■ 記述例

<iurl>ryo_cho_@fsinet.ne.jp</iurl>



1.10. thanks:協力者指定

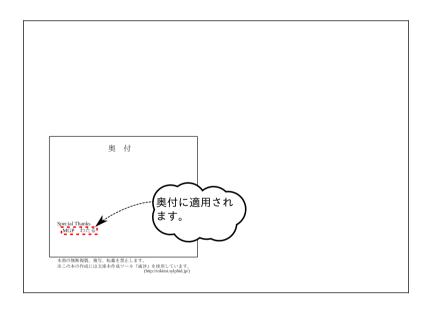
■ 用途

協力者を記述します。

このタグは複数指定可能であり、デフォルトテンプレートでは6個まで指定できます。 出力設定『付加情報』の『目次・奥付』がONの場合に奥付へ載ります。

■ 記述例

<thanks>MGP</thanks> <thanks>わたる</thanks>



1.11. edition: 改版履歴指定

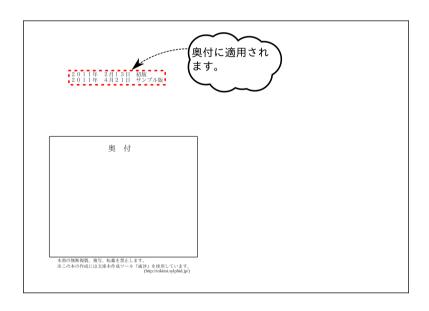
■ 用途

改版履歴を記述します。

出力設定『付加情報』の『目次・奥付』がONの場合に指定された順番で奥付へ記載されます。 なお、デフォルトテンプレートでは最大3個となっています。

■ 記述例

<edition>2011年 2月13日 初版 </edition><edition>2011年 4月21日 サンプル版 </edition>



1.12. cover: カバー指定

■ 用途

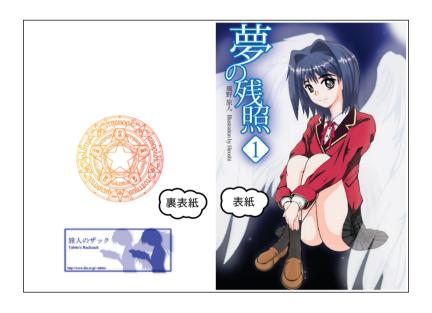
電子書籍向け出力用にカバーを指定するタグです。 出力設定の出力形式が『電子書籍向け』の場合のみ機能します

■ パラメータ

オプション	説明		
src		画像ファイル名を指定します。 相対パスもしくは絶対パスで指定することができます。	
type	表紙・中表紙・裏表紙の指定を行います。		
	値	説明	
	front	表紙指定	
	middle	中表紙指定	
	back	裏表紙指定	

■ 記述例

<cover src="img/zan01_sample_cover.jpg"/>
<cover type="back" src="img/akira_cover_back.jpg"/>



1.13. frontispiece:口絵指定

■ 用途

電子書籍向け出力用にカバーページの次、中表紙前に口絵のページを配置するタグです。 出力モードが『電子書籍向け』の場合のみ機能します。 複数個指定可能で、1 指定につき 1 ページが割り当てられます。

■ パラメータ

オプション	説明	
src	画像ファイル名を指定します。	
	相対パスもしくは絶対パスで指定することができます。	

■ 記述例

<frontispiece src="img/imgfile_fs_00.jpg"/>
<frontispiece src="img/imgfile_fs_01.jpg"/>



1.14. topimage:中表紙背景指定

■ 用途

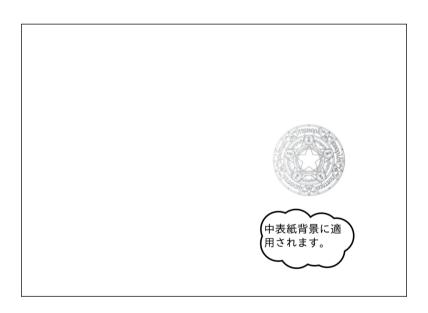
中表紙に対して背景絵を設定します。 cover タグに『type="middle"』を指定した場合と同等です。

■ パラメータ

オプション	説明	
src	画像ファイル名を指定します。	
	相対パスもしくは絶対パスで指定することができます。	

■ 記述例

<topimage src="img/topimage.jpg"/>



1.15.!: コメントアウト

■ 用途

記述内容をコメントアウトします。

基本的に HTML のそれと同様ですが、コメントアウトの入れ子は出来ませんのでご注意ください。

■ 記述例

<! - -美樹「本文には書けない罵詈雑言をいまここに! 晶って胸が……」 - ->

<!-- 晶「み、見えているわよ! 美樹っ! | -->

<!--美樹「えぇぇぇ!? 見えないはずなのにぃ!」-->

<!-- 晶「直接TNFファイル開けば見えるわよ!」 -->



1.16. printshop:印刷所名指定

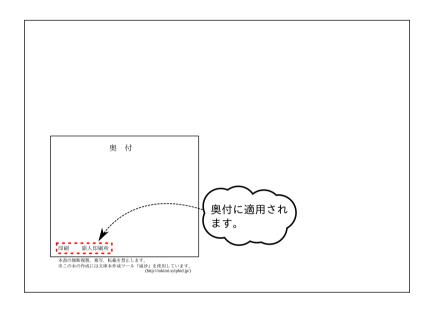
■ 用途

印刷所名を指定します。

指定すると出力設定『付加情報』の『目次・奥付』がONの場合に奥付へ印刷所名が表記されます。

■ 記述例

<printshop>旅人印刷所</printshop>



1.17. background:背景指定

■ 用途

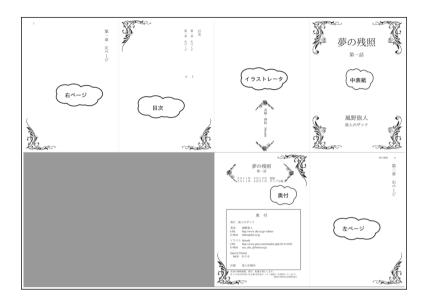
オプションページ(中表紙・目次・奥付等)、本文左右ページに背景画像を指定するタグです。 指定された背景画像は本文に指定する挿絵よりも裏側に配置されます。

■ パラメータ

オプション		説明
src		名を指定します。 (は絶対パスで指定することができます。
type	type 背景を設定したいページ種別を指定します。	
	値	説明
	middle	中表紙ページ指定 ※topimage/cover の type="middle"指定と同等です。
	illustrator	絵師表記ページ指定
	index	目次ページ指定
	publisher	奥付ページ指定
	rightpage	本文右ページ指定
	leftpage	本文左ページ指定
	emptypage	空ページ指定 (空ページ:目次の次に来る本文ページが奇数ページではない場 合などに挿入される調整の空ページを示します)

■ 記述例

```
<background type="middle" src="middle.jpg"/>
<background type="illustrator" src="illustrator.jpg"/>
<background type="index" src="index.jpg"/>
<background type="rightpage" src="rightpage.jpg"/>
<background type="leftpage" src="leftpage.jpg"/>
<background type="publisher" src="publisher.jpg"/>
```



2. ページ系タグ

2.1. page_title:ページタイトル

■ 用途

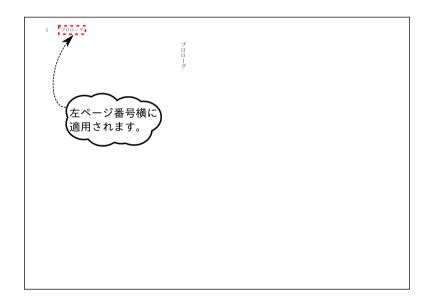
ページタイトルを指定します。

ページタイトルが指定されると、以降のページ番号横に指定された文字列が挿入されます。 なお、デフォルトテンプレートの場合、左ページのページ番号横に配置されます。

■ 記述例

<page_title>プロローグ</page_title>

プロローグ



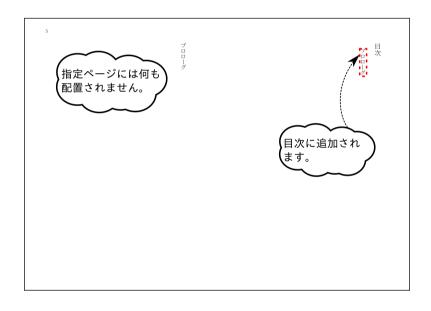
2.2. index: 目次指定

■ 用途

このタグが出現したページを目次に載せるページとして情報を保存します。 タグ内に指定する文字列が目次の項目名となります。 なお、目次ページそのものは、出力設定の『目次・奥付 付与』がONの場合に付与されます。

■ 記述例

<index>プロローグ</index>
 プロローグ



2.3. section:セクション(改丁)

■ 用途

新しいセクションを開き、以降に指定された内容を左ページから開始します。 ※『改丁』処理を実施することと同義です。

■ パラメータ

オプション	説明	
title 目次に掲載するタイトルを指定します。(index タグと同等)		
page_title ページタイトルを指定します。(page_index タグと同等)		
include 指定されたパスの TNF ファイルを取り込みます。 セクション単位でファイル分割を行う場合などに使用します。		

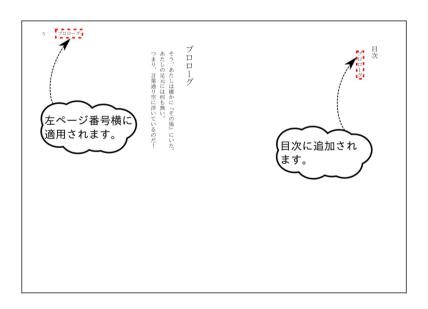
■ 記述例

<section title="プロローグ" page_title="プロローグ"> プロローグ

そう、あたしは確かに『その場』にいた。

あたしの足元には何も無い。
つまり、言葉通り空に浮いているのだ!

</section>



2.4. newpage: 改ページ

■ 用途

改ページします。

なお、段組み指定の場合にも、"改ページ"しますので注意してください。

■ パラメータ

オプション	·····································	
num 送りページ数を整数で指定します。		
	指定がない場合は1ページ送りが設定されたものをみなします。	

■ 記述例

<newpage/>

<newpage num="5"/>

2.5. newstep:改段

■ 用途

改段します。

ただし、1ページ1段(段組無し)の場合には、改ページと同じ動作となります。

■ パラメータ

オプション	説明
num	送り段数を整数値で指定します。
	指定がない場合は1段送りが設定されたものをみなします。

■ 記述例

<newstep/>

<newstep num="5"/>

2.6. nopagenum:ページ情報非表示

■ 用途

本文中のタイトル・ページタイトル・ページ番号・背景を非表示にします。

章立てごとに表紙を付ける場合などに活用する機能です。

なお、機能の仕様上、改ページ処理が行われないと機能しません。

(ページ途中で nopagenum タグが終了してしまうと、そのページには非表示が反映されません)

歴史的経緯から『nopagenum』というタグ名になっていますが、実際には本文左右ページテンプレートの処理を無効にするタグとなっています。

■ 記述例

<nopagenum>

<page_title>はじまり</page_title>

そして、眼下に広がる街並みは間違いなくあたしが住んでいる町だ。

「あれはいつも行っている本屋だし……あそこにあるのはこの前服を買った洋品店だし……」
r/>

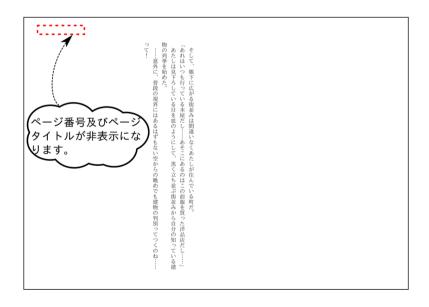
あたしは見下ろしている目を皿のようにして、黒く立ち並ぶ街並みから自分の知っている建物の列挙を始めた。

……意外に、普段の視界にはあるはずもない空からの眺めでも建物の判別ってつくのね……って!

て!

<newpage/>

</nopagenum>



3. 文字配置系タグ

3.1. br: 改行

■ 用涂

改行します。

威沙ではこのタグをもって改行を行い、通常の改行コードは無視します。 また、行末に『~』(チルダ)を記載することでも改行することができます。 (チルダは行末にない場合は改行されませんのでご注意ください)

■ 記述例

「問題はどうしてここにいるのかと、帰る方法よね……」

今になって気が付いたけど、こんな上空に浮いているのに寒さを全く感じないのだ。

本来、上空は強い風が吹いているというけれど、それを肌に感じる事も無い。

今のあたしは、風のない空中で留まっている風船の如くの状態である。

ると



3.2. indent: インデント

■ 用途

インデントを実施します。

このタグはオプションによって挙動がかなり違うので注意してください。

■ パラメータ

オプション	説明
string	indent タグが指定された"次の行"から指定された文字列を行頭に挿入し、インデントを行います。空白以外の文字列でも動作します。
size	indent タグが指定された"行"から指定されたサイズ分の空白を行頭に挿入します。 オプション名は『size』となっていますが、空白の文字数(整数)ですのでご注意く ださい。

■ 記述例

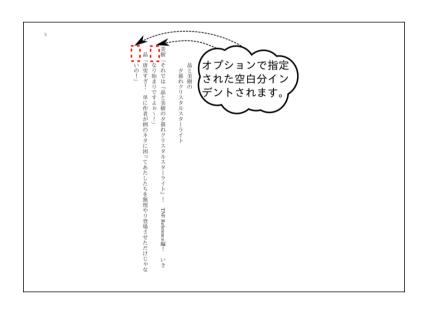
「<indent size="3">晶と美樹の
 夕暮れクリスタルスターライト</indent>

<indent string=" ">美樹「それでは『晶と美樹の夕暮れクリスタルスターライト』!

TNF Reference編! いきなり始まりですよぉ~!」</indent>

<indent string=" "> 晶「唐突すぎ!

単に作者が例のネタに困ってあたしたちを無理やり登場させただけじゃないの!」</indent>



3.3. margin: 行間

■ 用途

行間サイズを指定します。

ただし、このタグに囲まれた範囲が改行しなかった場合には適用されません。

■ パラメータ

オプション	説明
size	行間サイズを実数(小数点有効)で指定します。※単位指定可能 また、単位に%を指定した場合は現在値からの比率となります。

■ 記述例

<indent string=" "> 晶「こちらが行間変更前です」</indent>

<margin size="20">

<indent string=" ">美樹「(行間を)盛るぜ~ 超盛るぜぇ~」</indent>

<indent string=" "> 晶「そういうパロネタに走るのはネタ切れを露呈させる

だけだから控えなさいよ」</indent>

</margin>



3.4. under:地付き

■ 用途

囲まれた範囲を地付きに配置します。

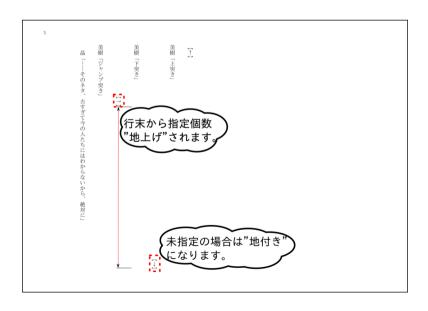
オプション num が指定された場合は、指定された分『地上げ』します。

なお、指定された範囲に含まれる文章が残りの行長に収まらない場合は改行処理が行われます。

■ パラメータ

オプション	説明
num	num オプションで指定された整数分、"地上げ"します。
	未指定の場合は"地付き"となります。

■ 記述例



3.5. spacer: スペーサー

■ 用途

指定した数分の空白を挿入します。

■ パラメータ

オプション	説明
num	挿入する空白の数を整数で指定します。

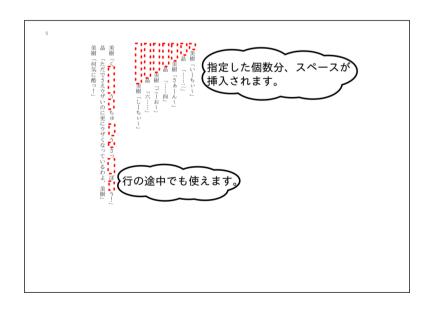
■ 記述例

```
<spacer num="1"/>美樹「いーちぃ〜」<br/>
<spacer num="2"/>晶 「……二」<br/>
<spacer num="3"/>美樹「さぁーん〜」<br/>
<spacer num="4"/>晶 「……四」<br/>
<spacer num="5"/>美樹「ごーお〜」<br/>
<spacer num="6"/>晶 「六……」<br/>
<spacer num="7"/>美樹「しーちぃ〜」<br/>
<spacer num="7"/>美樹「しーちぃ〜」<br/>
<spacer num="3"/>う<spacer num="2"/>

ちゅ<spacer num="3"/>う<spacer num="1"/>

さっ<spacer num="3"/>ぱ<spacer num="1"/>

晶 「ただでさえウザいのに更にウザくなっているわよ、美樹」<br/>
美樹「何気に酷っ!」<br/>
<br/>
美樹「何気に酷っ!」<br/>
```



3.6. center:中央配置

■ 用途

囲んだ文字列を行中央に配置します。 なお、文の途中でこのタグを指定した場合は、強制的に改行されてから中央配置が行われます。

■ 記述例



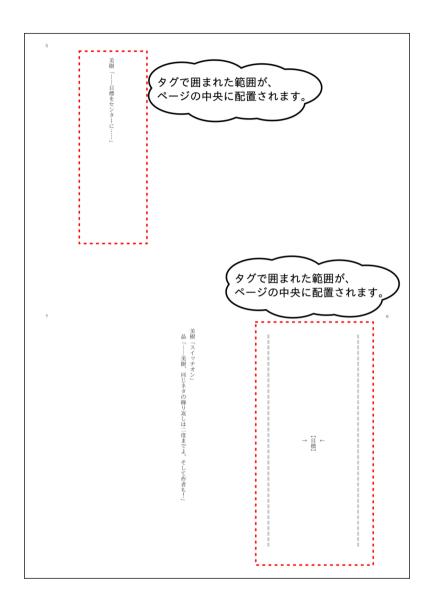
3.7. center_page:ページセンターリング

■ 用途

囲まれた範囲の文章をページ上の中央に配置します。 なお、囲まれた範囲の本文が1ページに収まらない場合は通常の配置が実行されます。

■ 記述例

```
<center_page>
             ">美樹「――目標をセンターに……」</indent>
<indent string="
</center_page>
<center_page><center>
______
</center><br/><br/><br/>>
<center> \( < \center > \)
<center>【目標】</center>
<center>1</center>
<hr/><hr/><hr/><center>
_____
</center></center_page>
<indent string="
             ">美樹「スイッチオン」</indent>
<indent string=" "> 晶「……美樹、同じネタの繰り返しは二度までよ。
そして作者も!」</indent>
```



4. ルビ系タグ

4.1. rubymap:ルビマッピング

■ 用途

ルビ文字指定のない ruby タグに対し、ルビの割り当てを行う"マッピング"を実施します。 ruby タグのオプション text がなくても rubymap で指定されている場合には、こちらの内容が有効になります。(双方で指定されている場合は、ruby タグの text オプション指定が有効になります) また、頻出度が設定できますので、ページ内で1回のみルビを振るなどの指定が可能です。

オプション	説明			
base	ルビを割り当て	てるベースの文字列を指定します。		
text	ルビ文字を指定	ご します。		
render	頻出度を設定し	頻出度を設定します。		
	値	説明		
	section	セクション内で1回のみ、ルビを振ります。 section タグで囲われている範囲が基準となります。		
	page	ページ内で1回のみ、ルビを振ります。		
	every	常にルビを振ります。		
	first	文中で1回のみ、ルビを振ります。		
balance	ルビのベースとなる文字をバランス配置する方式です。 ルビの長さがベースとなる文字より長い場合に効果があります。 このオプションを有効にするには"on"を指定してください。			

■ 記述例

```
<rubymap base="美樹" text="みき" render="first" />
<rubymap base="晶" text="あきら" render="first" />
<rubymap base="星野美樹" text="ほしのみき" render="every" />
<rubymap base="水月晶" text="みつきあきら" render="every" />
<rubymap base="幻滅の星宮" text="スターライトブレイカー" render="every" />
<br/>
<br/>
美樹「ルビを使っている場所がないので何も出ません~」<br/>
晶「実際の動作確認は、次の『04_02_ruby.tnf』のサンプルを参照してください」<br/>
<br/>
<br/>
<br/>
<br/>
```



4.2. ruby:ルビ

■ 用途

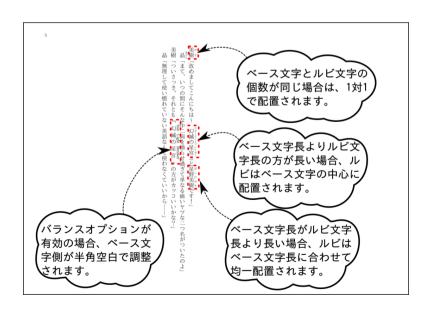
ルビを振ります。

balance オプションが指定されない場合は、ルビ側の配置が調整されます。

オプション	説明
balance	ルビのベースとなる文字をバランス配置する方式です。 ルビの長さがベースとなる文字より長い場合に効果があります。 このオプションを有効にするには"on"を指定してください。
size	ルビのサイズを実数(小数点有効)で指定します。※単位指定可能 また、単位に%を指定した場合は現在値からの比率となります。 通常はデフォルトのままで問題ありません。
point	ベース文字とルビ文字との距離を実数(小数点有効)で指定します。 ※単位指定可能 また、単位に%を指定した場合は現在値からの比率となります。 通常はデフォルトのままで問題ありません。
text	ルビ文字列を指定します。 基本的に必須オプションですが rubymap タグを使用すればこのオプションを指定 せずに使用することが可能です。

■ 記述例

```
<rubymap base="美樹" text="みき" render="first" />
<rubymap base="晶" text="あきら" render="first" />
<rubymap base="星野美樹" text="ほしのみき" render="every" />
<rubymap base="水月晶" text="みつきあきら" render="every" />
<rubymap base="幻滅の星宮" text="スターライトブレイカー" render="every" />
<indent string="
                  ">
<ruby>美樹</ruby>
「改めましてこんにちは~ <ruby>幻滅の星宮</ruby>こと<ruby>星野美樹</ruby>で
す!」
</indent>
<indent string="
                  ">
 <ruby>晶</ruby>
「まて、いつの間にそんな中二病を拗らせ過ぎて単なる痛いヤツな二つ名がついたのよ」
</indent>
                  ">
<indent string="
<rubv>美樹</rubv>
「ついさっき。それとも
"<ruby point="6.5" size="6.5"</pre>
text="Star Light Breaker" balance="on">幻滅の星宮</ruby>』
の方がカッコいいかな? |
</indent>
<indent string="
                  "> <ruby>晶</ruby>
「無理して使い慣れていない英語なんて使わなくていいから……」</indent>
```



5. 字飾り系タグ

5.1. fontmap: font タグ定義

■ 用途

font タグに指定するオプションを予め定義することが出来ます。

フォントの変更を行う場合は、この fontmap タグにてフォント定義を行ってから font タグで変更したい文章を指定する形になります

オプション	説明
name	フォントの名称を定義します。 ここで指定した名称は font タグの name オプションと対応します。
type	半角用フォントの場合はこのオプションに ascii を指定する必要があります。 なお通常の全角フォントの場合はこのオプションを指定しないでください。
file	フォントのファイル名を指定します。 TrueType フォント(拡張子『.ttf』『.ttc』)または OpenType フォント(拡張子『.otf』)のフォントファイルが指定できます。 TTC を指定する場合には『:1』などと使用するフォント番号を指定することが出来ます。 なお、TTC 番号が指定されていない場合は『:0』が指定されたものとみなします。
size	文字サイズを実数(小数点有効)で指定します。※単位指定可能 また、単位に%を指定した場合は現在値からの比率となります。
space	行間を実数(小数点有効)で指定します。※単位指定可能 また、単位に%を指定した場合は現在値からの比率となります。 指定された次の行以降から有効になりますが、font タグ内で改行がなかった場合に は適用されませんので注意してください。(margin タグと同等)
color	文字色を設定します。※カラー指定形式

■ 記述例



5.2. font:フォント設定

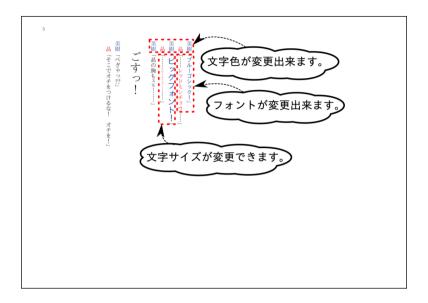
■ 用途

文字フォントサイズの変更、フォント種別の変更、行間の調整などを行います。 なお、フォント種別変更は fontmap タグで予め定義して置く必要があることにはご注意ください。

オプション	説明
name	fontmap タグで定義した名称を指定することにより、予め定義されたオプションが
	有効になります。
	なお、name オプションで指定された定義と同じオプションを font タグで指定された場合は、font タグ指定が優先されます。
size	文字サイズを実数(小数点有効)で指定します。※単位指定可能 また、単位に%を指定した場合には現在値からの比率となります。
space	行間を実数(小数点有効)で指定します。※単位指定可能
	また、単位に%を指定した場合には現在値からの比率となります。
	指定された次の行以降から有効になりますが、font タグ内で改行がなかった場合に
	は適用されませんので注意してください。(margin タグと同等)
color	文字色を変更します。※カラー指定形式
attribute	文字属性を変更します。
	font 夕グ処理では文字属性を変更しないため、このオプション指定が無い場合は
	『文字属性=文字』
	となっています。

■ 記述例

```
<indent string=" "><font color="#0000FF">美樹</font>
「<font name="g" color="#0000FF">ブルーゴシック!</font>」
</indent>
<indent string=" "><font color="#FF0000"> 晶</font>
「……<font name="m" color="#FF0000">レッドミンチョウ</font>.....」
</indent>
<indent string="
<font color="#0000FF">美樹</font>
「<font size="150%" name="q" color="#0000FF">ビッグフォント!</font>」
</indent>
<indent string="
<font color="#FF0000"> 晶</font>
「……<font size="50%" name="m" color="#FF0000">スモールフォント</font>...
...]
</indent>
<indent string="
<font color="#0000FF">美樹</font>
「晶の胸も<font size="80%" name="m">スモー</font>.....
</indent><br/>
<br/>
   <font size="200%">ごすっ!</font><br/>
<br/>
<indent string="
<font color="#0000FF">美樹</font>「ぺぎゃっ<double>!?</double>」
</indent>
<indent string="
<font color="#FF0000"> 晶</font>「そこでオチをつけるな! オチを!」
</indent>
```



5.3. sideline:傍線

■ 用途

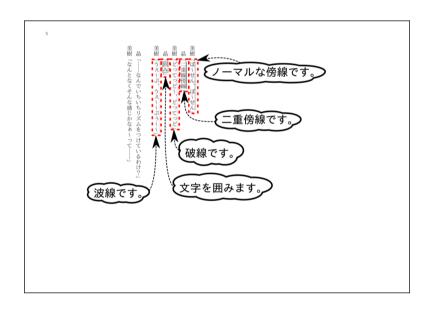
文字列の隣に傍線を引きます。

■ ハラメータ			
オプション	説明		
type	傍線の線種を指定します。		
	値	説明	
	line	1 本線の傍線を引きます。	
	double	2本線の傍線を引きます。	
	dotted	鎖線の傍線を引きます。	
	wave	波線の傍線を引きます。	
	box	文字列を囲みます。	
width	傍線の太さを実	異数(小数点有効)で指定します。※単位指定可能	
color	傍線の色を指定します。※カラー指定形式		
attribute	傍線を引く文字列の文字属性を変更します。 sideline タグ処理では文字属性を変更しないため、 このオプション指定が無い場合は 『文字属性=文字』 となっています。		

■ 記述例

<indent string=" ">美樹「<sideline type="line"> ぼ~せん、ぼ~せん</sideline>」</indent> "> 晶「<sideline type="double">二重線傍線 <indent string=" </sideline>」</indent> <indent string=" ">美樹「<sideline type="dotted"> どってっど~、どってっど</sideline>」</indent> <indent string=" "> 晶「<sideline type="box">囲み</sideline>」 </indent> <indent string=" ">美樹「<sideline type="wave"> うぇ~ぶ、うぇ~~ぶぅ~~</sideline>」</indent>

 "> 晶「……なんでいちいちリズムをつけているわけ?」 <indent string=" </indent> <indent string=" ">美樹「なんとなくそんな感じかなぁ~って……」</indent>



5.4. strike:取り消し線

■ 用途

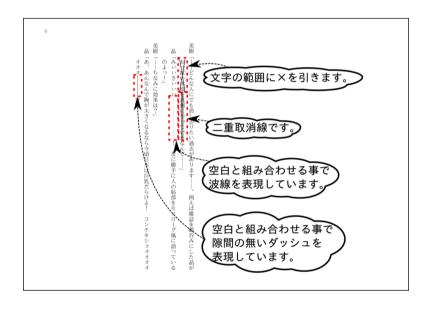
取り消し線を引きます。

空白と組み合わせることで、波線や一を表現することができます。

オプション	説明		
type	取り消しの線種を指定します。 指定が無い場合は二本線の取り消し線が引かれます。		
	値	説明	
	single	1本線の取り消し線を引きます。	
	strikeX	文字列に×の取り消し線を引きます。	
	wave	波線の取り消し線を引きます。	
width	取り消し線の太	てさを実数(小数点有効)で指定します。※単位指定可能	
color	取り消し線の色を指定します。※カラー指定形式		
attribute	取り消し線を引く文字列の文字属性を変更します。 strike タグ処理では文字属性を変更しないため、 このオプション指定が無い場合は 『文字属性=文字』 となっています。		

■ 記述例

```
美樹「<strike type="single"> </strike>
<strike type="single"> </strike>
どんな人にでも消し去りたい過去があります……。
例えば雑誌を鵜呑みにした晶が<strike type="strikeX">おっぱい体操</strike>
<strike>を真剣にやっていた</strike>なんて……」
</indent>
<indent string=" "> 晶「みぃぃきぃぃぃ
<strike type="wave">
                       </strike>!
 なに勝手に人の恥部をモノローグ風に語っているのよっ!」</indent>
              ">美樹「……ちなみに効果は?」</indent>
<indent string="
<indent string="
 晶「あ、あんなんで胸が大きくなるなら今頃日本は巨乳だらけよ!
 コンチキショオオオオオオオ
```



5.5. double:縱中横

■ 用途

囲まれた範囲の2文字を縦中横に配置します。 三文字以降は無視されます。

■ 記述例



5.6. overlap:文字重ね

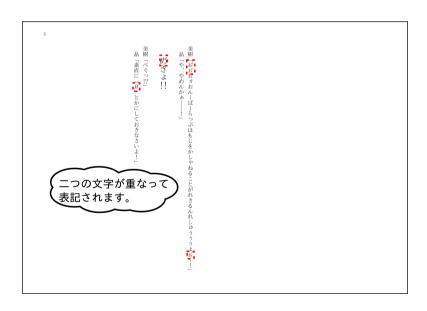
■ 用途

指定した2文字を同一座標に配置し、重ね合わせます。

0と/を合わせてゼロスラッシュを表現したりなどの場合に使用します。

また、結合文字用の濁点および半濁点記号と組み合わせることによって、『あ』に濁点などを表現することができます。

■ 記述例



5.7. stress: 傍点

■ 用途

文字列に傍点(圏点)を振ります。

■ パラメータ

オプション	説明
size	圏点サイズを実数(小数点有効)で指定します。※単位指定可能 単位に%を指定した場合は現在値からの比率となります。
point	ベース文字列と圏点との距離を実数(小数点有効)で指定します。※単位指定可能 単位に%を指定した場合は現在値からの比率となります。
type	傍点に使用する文字を指定します。 デフォルトでは圏点記号『 ゝ 』を使用します。

■ 記述例

<indent string=" ">美樹「<stress>ゴォオオオマアアアアアマ</stress>!
 <stress type=" ">しろい~ごまぁっ</stress>!」</indent>
<indent string=" "> 晶「<stress type="●">黒丸</stress>
 ·<stress type="○">白丸</stress>
 ·<stress type="○">白丸</stress>」</indent>
<indent string=" ">美樹「<stress type="▲">黒いぃぃ三角ぅ~</stress>!
 <stress type="△">白いぃぃ三角ぅ~</stress>!」</indent>
<indent string=" "> 晶「<stress type="◎">二重丸</stress>
 ·<stress type="◎">蛇の目</stress>.......
何でアンタは一々そんな魔法でも叫ぶような台詞回しなのよ?」</indent>
<indent string=" ">美樹「本文中で複数使うようなパターンなんてそうそう無いから、例のネタに困っている作者さんの心を代弁する感じ?」</indent>
<indent string=" "> 晶「ぶっちゃけすぎ!」</indent>



5.8. a:リンク

■ 用途

出力ファイル上の仟意位置とのハイパーリンクを生成します。

■ パラメータ

オプション	説明
href	リンク先の name または id を指定します。 後述の name または id に指定した名称に対応するリンクを生成します。
name	リンクしたい位置でこのオプションを指定します。
id	リンクしたい位置でこのオプションを指定します。 name オプションと同等です。

■ 記述例

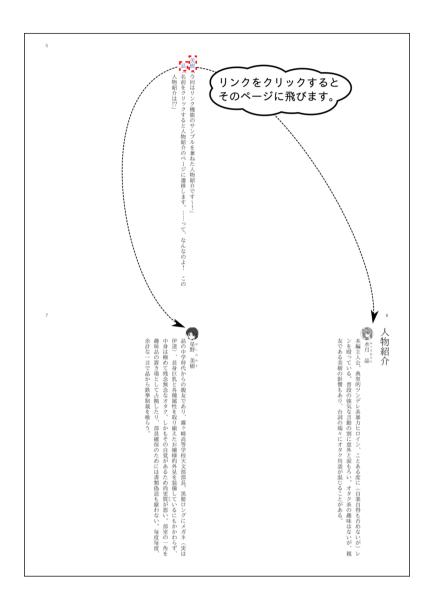
<fontmap name="link" color="#0000ff" /> <indent string=" ">美樹 「今回はリンク機能のサンプルを兼ねた人物紹介です~!」</indent> <indent string=" "> 晶</ a> 「名前をクリックすると人物紹介のページに遷移します。 ……って、なんなのよ! この人物紹介は<double>!?</double>! </indent> <newpage /> 人物紹介

 <ruby text="みつきあきら">水月 晶</ruby>
 <indent size="2">本編主人公。典型的ツンデレ系暴力ヒロイン、 ことある度に(自業自得も否めないが)レンを殴っている。 普段の強気な言動の割に意外と涙もろい。オタク系の趣味はないが、 親友である美樹の影響もあり、台詞の端々にオタク用語が混じることがある。</indent><br/ <newstep />

 <ruby text="ほしのみき">星野 美樹</ruby>
 <indent size="2">晶の中学時代からの親友であり、霧ヶ崎高等学校天文部部長。 黒髪ロングにメガネ(実は伊達)、長身巨乳と各種属性を取り揃えたお嬢様的外見を 装備しているにもかかわらず、中身は極めて残念無念なオタク。

しかもその自覚があるため尚更<ruby text="たち">質</ruby>が悪い。 部室の一角を趣味品の置き場として占拠したり、部員確保のためには書類偽造も厭わない。

毎度毎度、余計な一言で晶から鉄拳制裁を喰らう。</indent>



5.9. number: 自動採番

■ 用途

このタグは、自動的にカウントアップ処理を行い、番号文字列へ置き変える処理を行います。 標準ではアラビア数字($1\sim99$)ですが、出力文字は半角英数、漢字パターン $1\cdot2$ 、ローマ数字 ($I\sim X$) の形式をサポートしています。

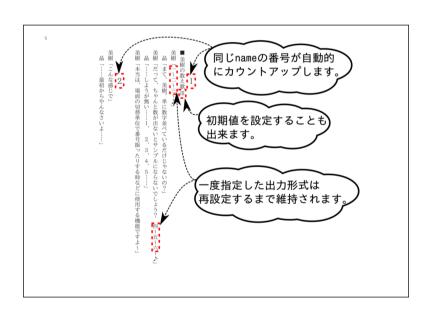
なお、一度 format オプションに値を設定すると、以降同一名称(name)の number タグは設定せずと も表出フォーマットが固定されます。

途中で変更する場合には、同一の名称で format オプションを再指定してください。

■ ハフスーツ			
オプション	説明		
name	採番名称を設定します。指定されない場合は無名採番(共通カウンタ)となります。		
format	用途の記載通り	・状態を指定します。 、一度指定すると name 単位で設定内容が固定されますので、変更する プションを再指定してください。 	
	値	説明	
	number	デフォルトの出力形式です。 全角数字(1~99)を表記します。 99を超えた場合は1に戻ります。 10以降は自動的に縦中横が適用されます。	
	alphanumeric	半角数字(1~99)を表記します。 99を超えた場合は1に戻ります。 1~9までは半角縦配置、10以降は自動的に縦中横が適用されます。	
	kanji1	漢数字(一〜九九)を表記します。 99 を超えた場合は 1 に戻ります。	
	kanji2	漢数字(一〜九十九)を表記します。 99 を超えた場合は 1 に戻ります。	
	rome	ローマ数字(I~X)を表記します。10 を超えた場合には 1 に戻ります。ローマ数字の表記の関係上、このパターンのみ 10 が上限となっています。	

	1		
	alphanumeric	半角数値横書きにて表記します。【開発版のみ】 このフォーマットでは最大数値は 100000 に設定されています。 digit オプションでフォーマットを設定することができます。	
	normal	半角数値縦書きにて表記します。【開発版のみ】 このフォーマットでは最大数値は 100000 に設定されています。 digit オプションでフォーマットを設定することができます。	
fixed	ed 現在番号で固定し、以後同一 number タグがあってもカウントアップしません このオプションは一度指定すると設定が継続しますので、再開する場合にはで たは""(空)を指定することで解除してください。		
	値	説明	
	on	番号を固定します。	
	off	番号固定を解除します。	
value	開始番号を指定	します。ただし範囲外の値を指定された場合には1に戻ります。	
digit	出力数値の桁数を指定します。 format 指定が『alphanumeric』または『normal』の場合のみ有効になります。 例: digit="06.02"(6 桁 0 詰め(少数桁を含む)、小数点第二位 0 詰め) <number digit="06.02" format="normal" value="13.2"></number> ⇒ 出力『013.20』		
mode	数値文字列の出力モードを指定します。 未指定、もしくは指定可能文字以外が指定された場合はそのまま数値文字列を出力し ます。		
	值	説明	
	define	name に指定された名称で定義値を定義します。 このモードの場合は、定義値の定義のみ行い、文面には数値を出力し ません。	

■ 記述例



5.10. insnote:割注

■ 用途

このタグは囲まれた範囲を割注として文章中に配置します。 フォントサイズはその時点で指定されているサイズを二分の一にして二行で配置されます。 また、文字数が 4 の倍数に満たない場合は空白で補正されます。

■ 記述例

■記述例 星野美樹(<insnote>言わずと知れた天文部部長</insnote>)

水月 晶(<insnote>言わずと知れた本編主人公……のはず……</insnote>)

<indent string=" "> 晶「一一まて、美樹。なんであたしは『はず』なのよ?」</indent>

<indent string=" ">美樹「いや、最近出番全然ないじゃない。わたしもだけど」</indent>

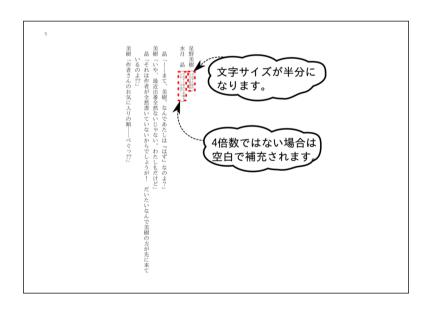
<indent string=" "> 晶「それは作者が全然書いていないからでしょうが!だいたいなんで美樹の方が先に来ているのよ<double>!?</double>」</indent>

<indent string=" ">美樹「作者さんのお気に入りの順……ペぐっ<double>!?</double>」</indent>

<indent>

<indent<

<indent</td>



5.11. horizontal: 縦中横

■ 用途

このタグに囲まれた範囲を縦中横に配置します。

『double』タグと違い3文字以上の文字列も配置することができます。 なお、デフォルトでは全角英数文字はプロポーショナル配置されます。

オプション	説明		
align	縦中横文字列の配置位置を指定します。		
	値	説明	
	left	左寄せで配置します。	
	right	右寄せで配置します。	
	center	中央寄せで配置します。(デフォルト)	
type	このオプションに plain を指定すると全角英数文字は等間隔配置となります。		
	値	説明	
	plain	プロポーショナル配置を無効にして、全角英数文字を等間隔に配置します。	

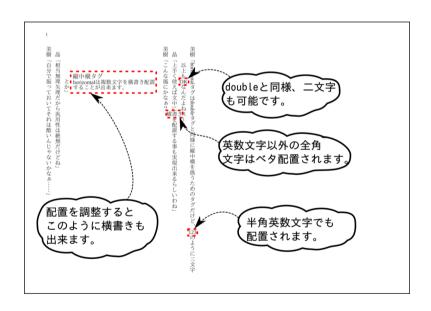
■ 記述例

<indent string=" ">美樹「horizontalタグはdoubleタグと同様に縦中横を扱うた めのタグだけど、 <horizontal>123
/horizontal>のように三文字以上も <horizontal>OK</horizontal>なんだよねぇ~」</indent>
 <indent string=" "> 晶「上手く使えば文中に <horizontal>横書き</horizontal> を配置する事も実現出来るらしいわね」</indent>
 <indent string=" ">美樹「こんな風にかなぁ?

 <horizontal align="right">縦中横夕グ</horizontal> <horizontal align="right">horizontalは複数文字を横書き配置</horizontal> <horizontal align="right">することが出来ます。</horizontal>
 とかし </indent>
 <indent string=" "> 晶「相当無理矢理だから汎用性は絶無だけどね」</indent>
 ">美樹「自分で振っておいてそれは酷いんじゃないかなぁ……」 <indent string="

■ 出力例

</indent>



5.12. style: スタイル指定

■ 用途

HTML の CSS などのようにタグのオプションをスタイルシートのように指定することができます。 指定することができるのは各タグのオプションと同様となります。

style タグにて予め定義を行っておくことで、TNF 全体の該当するタグを修正することなく一括で同一の設定を施すことができます。

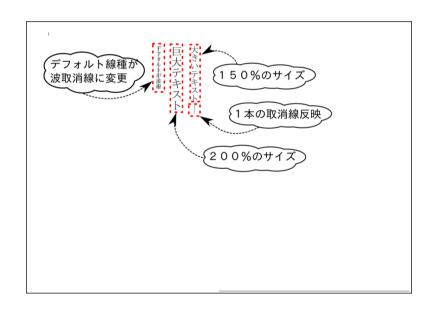
なお、スタイルの適用順ですが、

優先度	指定方式	例	適用イメージ
1	直接指定	<style> font {size:"120%";} font.big {size:"150%";} </style> テスト	テスト
2	タグスタイル指定	<style> font {size:"120%";} font.big {size:"150%";} </style> テスト	テスト *150%
3	スタイル指定による タグデフォルト変更	<style> font {size:"120%";} </style> テスト	テスト *120%
4	タグデフォルト	テスト	テスト ※100%

となっており、より直接的な指定ほど優先度が高くなります。

■ 記述例

```
<style>
font.big { size:150%; } /* 大サイズ(タグ限定指定) */
strike.dash { type:single; } /* ダッシュ置き換え(タグ限定指定) */
.large { size:200%; } /* 汎用巨大サイズ(タグ限定なし指定) */
strike { type:wave; } /* strikeタグのデフォルト変更(タグのスタイル指定に関わらずデフォルト適用) */
</style>
<font style="big">大きいテキスト</font><strike style="dash"> </strike>
<br/>
<br/>
<font style="large">巨大テキスト</font><br/>
<font style="large">巨大テキスト</font><br/>
<br/>
<br/>
<strike>デフォルトが波線</strike>
```



5.13. bind: 合成指定

■ 用途

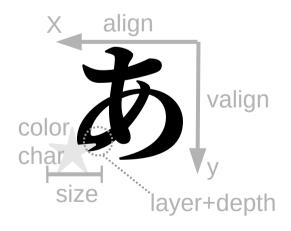
指定された文字をベースとなる文字列に合成します。

double タグや overlap タグと違って合成数に制限は無く、またベース文字を基準にした座標・サイズ を直接指定することができるため、様々な表現が可能になります。

オプション	説明
х	ベース文字の右上を基準とした横の配置座標を指定します。※単位指定可能 %指定による比率指定の場合、右が 0%、左が 100%、ベース文字よりも右に配置した い場合はマイナス値を指定します。 比率指定を使用すると文字が拡大縮小されても追従することが出来るため、こち らを使用することをお勧めします。
У	ベース文字の右上を基準とした縦の配置座標を指定します。※単位指定可能 %指定による比率指定の場合、上が 0%、下が 100%、ベース文字よりも上に配置し たい場合はマイナス値を指定します。 比率指定を使用すると文字が拡大縮小されても追従することが出来るため、こち らを使用することをお勧めします。
size	ベース文字のサイズを基準とした配置文字のサイズを指定します。※単位指定可能 %指定による比率指定の場合、現在フォントサイズからの比率となります。 比率指定を使用すると文字が拡大縮小されても追従することが出来るため、こち らを使用することをお勧めします。
char	配置したい文字列を指定します
name	合成するフォント種別を指定します。指定方法は font タグの name オプションと同様で、fontmap タグで定義した名称を指定します。
color	合成する文字の色を指定することができます。※カラー指定形式
layer	合成する文字のレイヤー番号を指定します。 デフォルトは"11"に設定されています。 ベース文字は"10"に設定されていますので、通常は合成文字は手前に配置されるようになっています。
depth	layer に対しての奥行きを指定します。実際に配置されるレイヤーは layer オプションと+depth オプションの合成値となります。デフォルトは"0"となっています。

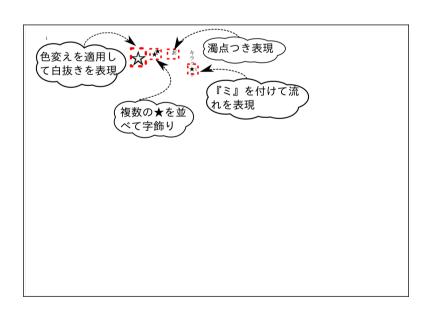
valign	ベース文字に対して合成文字の縦配置を自動的に行います。		
	値	説明	
	top	ベース文字の上辺に縦位置を合わせます。	
	middle	ベース文字の中心に縦位置を合わせます。	
	under	ベース文字の下辺に縦位置を合わせます。	
align	ベース文字に対して合成文字の横配置を自動的に行います。		
	値	説明	
	left	ベース文字の左辺に横位置を合わせます。	
	center	ベース文字の中心に横位置を合わせます。	
	right	ベース文字の右辺に横位置を合わせます。	
direction	合成文字の文字	2 方向を指定します。	
	値	説明	
	V	縦配置	
	Н	横配置	

■ パラメータ指定イメージ



■ 記述例

```
キラッ<bind x="-60%" y="20%" size="80%" char="ミ">★</bind>
<double>!!</double>
<br/><br/>
<br/><br/>
     <bind x="-30%" v="-30%" char="★">
          <bind x="0%" y="0%" char="^{*}">
               <bind x="30%" y="30%" char="\star"> </bind>
          </bind>
     </hind>
<br/><br/>
<stvle>
bind.star1 { valign:"middle"; align:"center"; size:"70%"; depth:"1";
color:"0.5"; char:"★"; } /* グレー★ */
bind.star2 { valign:"middle"; align:"center"; size:"50%"; depth:"2";
color:"1"; char:"★";} /* 白抜き★ */
</style>
<define name="ss">
<bind style="star1"><bind style="star2">★</bind></bind>
</define>
<font size="300%">&ss;</font>
```



5.14. paling: 囲

■ 用途

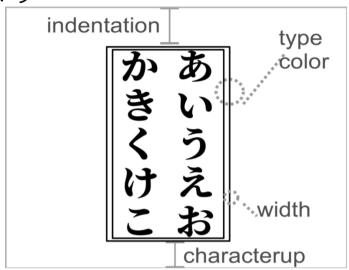
指定された範囲を罫線で囲います。

行の文字数から indentation オプションと characterup オプションを引いた分、字下げもしくは地上 げされた範囲が囲われる範囲となります。

なお、行の途中でこのタグが指定された場合は、強制改行が実行されてから囲が適用されます。

オプション		説明
indentation	字下げ文字数を	整数値で指定します。
characterup	地上げ文字数を	整数値で指定します。
type	囲の罫線の形状	た指定します。
	値	説明
	line	1 本線の罫線を引きます。(デフォルト)
	double	2本線の罫線を引きます。
	dotted	鎖線の罫線を引きます。
	wave	波線の罫線を引きます。
	none	罫線を引きません。字下げと字上げのみを適用します。
	img	【開発版のみ】 罫線の代わりに指定した画像を囲の背面に配置します。
width	囲の罫線の太さ	を指定します。※単位指定可能
color	合成する文字の	色を指定することができます。※カラー指定形式
src	1	画像を指定します。 ケルを無視して、paling 範囲内に変倍で配置されます。 のみ有効

■ パラメータ指定イメージ

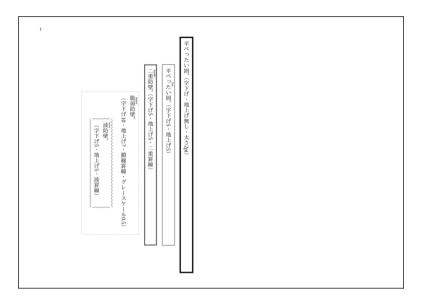


■ 記述例

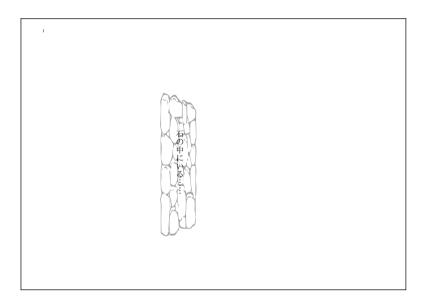
```
<paling width="2pt">
    平べったい囲。(字下げ・地上げ無し・太さ2pt)
</paling><br/>
<paling indentation="5" characterup="5">
    <ruby text="line">平べったい囲</ruby>。(字下げ5・地上げ5)
</paling><br/>
<paling indentation="5" characterup="5" type="double">
    <ruby text="double">二重</ruby>防壁。(字下げ5・地上げ5・二重罫線)
</paling><br/>
<paling indentation="10" characterup="7" type="dotted" color="0.5">
    <ruby text="dotted">脆弱</ruby>防壁。<br/>
     (字下げ10・地上げ7・鎖線罫線・グレースケール0.5) <br/>
    <paling indentation="5" characterup="5" type="wave">
         <ruby text="wave">波</ruby>防壁。<br/>
(字下げ5・地上げ5・波罫線)
    </paling><br/>
</paling>
```

■ 記述例(img)

■ 出力例



■ 出力例(img)



5.15. centerline:中央線描画

■ 用途

主に空白と組み合わせて擬似的に――(ダッシュ)を描画します。
strike タグの type="single"指定と同等の処理になりますが、こちらは attribute がデフォルトで記号
『一(ダッシュ)』に設定されています。

現状、PreTNF から TNF 変換時には strike タグで『type="single" attribute="—"』が指定されて centerline タグと同等になる実装になっているため、このタグを使用することは殆ど無いでしょう。

オプション	説明
width	中央線の太さを実数(小数点有効)で指定します。※単位指定可能
color	中央線の色を指定します。※カラー指定形式
attribute	中央線を引く文字列の文字属性を変更します。 centerline タグ処理では文字属性を『一』に変更しており、 このオプション指定が無い場合は 『文字属性=一』 となっています。

6. 挿絵系タグ

6.1. img: 挿絵指定

■ 用途

挿絵を配置します。

デフォルトでは img タグが現れたページの背景に挿入されますが、挿絵として実用とするには、 class オプションで"illustration"を指定してください。

"illustration"は改ページ時に自動的に挿絵を配置する機能、"char"は文字として画像を行中に埋め込む機能、"inline"は文中に画像を配置する機能となっており、各 class によって挙動とオプションが異なりますので、ご注意ください。(class に無関係なオプションは指定しても無視されます)

■ パラメータ(class 共通)

オプション	説明	
src	1	名を指定します。 〔 は絶対パスで指定することができます。
qrcode	指定された文字列の QR コード画像を生成します。 『\n』または『,』で区切ることで改行を入れることができます。 このオプションが指定された場合、src オプションは無視されます。	
class)動作を指定します。 れない場合、タグが出現したページの背景に画像を埋め込む動作と
	值	説明
	illustration	自動挿絵モード img タグが指定されてもすぐに挿絵の配置が行われず、左ページもしくは右ページが次に現れた時に配置されます。 (align オプションで左右の指定が可能です)
	old	過去との互換性を保つために残っているオプション指定で、現在 は非推奨の値です
	char	画像を文字列扱いとして行中に挿入します。 画像外字による記号を行中に配置したい、画像でのアイコンを配 置したいなどの場合に使用します。

inline	文中に画像を配置します。サイズは残り文章領域、もしくは
	width/height オプションに依存します。

■ パラメータ(class="illustration")

オプション		説明
align	なお、illustratic 左ページ中に方 で、右画像は配	ミページ)
	値	説明
	right	右ページに配置します。
	left	左ページに配置します。
	next	タグが指定された次のページに配置します。
	(指定しない場 なお、上部配置 ※仕様上、段組	の位置に挿絵を配置するかを指定することができます。 場合は、通常通り1ページの領域内に配置されます) 間が指定された場合は、本文はその下に配置されます。 日時には正常に機能しません。 よく段に反映されます)
position	値	説明
	upper	文章領域上部に配置します。
	under	文章領域下部に配置します。
	left	文章領域の左側に配置します。
	right	文章領域の右側に配置します。

■ パラメータ(class="char")

オプション	説明
size	本文中画像のサイズを指定することができます。※単位指定可能 単位に%を指定した場合は現在フォントサイズからの比率となります。
ruby	本文中画像にルビを指定することができます。
point	本文中画像にルビの位置を変更することが出来ます。 (ruby タグの point オプションと同等)

■ パラメータ(class="inline")

オプション	説明
width	文中に配置する画像の幅を指定します。残り文章領域サイズを超えている場合には 自動的に調整されます。※単位指定可能
height	文中に配置する画像の高さを指定します。残り文章領域サイズを超えている場合に は自動的に調整されます。※単位指定可能

■ 記述例(class="illustration" & class="char") 『夕暮れクリスタルスターライト』Vol.X
<under> 水月晶&星野美樹 </under>
 <marqin size="10"> <indent string=" 「というわけで最後のタグ紹介となります! ライトノベルでは欠かせない…… というよりむしろこっちがメイン? な挿絵挿入夕グであるimg夕グのご紹介です~♪」 </indent> <indent string=" 「発言がなにげに黒いわよ、美樹」</indent> <indent string=" "> 「アンチテーゼ、というヤツだね~」</indent> "> <indent string=" 「いやいやまてまて、要らんところまで敵を作るから、さっきの台詞は!」</indent> "><imq size="16" src="J_miki.jpg" class="char"/> <indent string=" 「それはさておき、さくっと挿絵タグ機能の紹介です。 まずは自動挿入のデフォルト動作『左ページ挿入』です~」</indent> <newpage/> <indent string=" "> 「巨大な晶が我が物顔で左ページを乗っ取っていると思いますが、 ちゃんと不敵な笑みを浮かべた晶が表示されているでしょうか?」</indent> <indent string=" "> 「……どうしてあたしの絵はあんなに猛々しい顔している絵ばかりなのかしら……」</indent> "> <indent string=" 「あれ元は表紙絵だし、そもそも攻撃的な晶にはちょうど良いと思うよ~。 ではさくっと次では右ページ配置をどうぞ~」</indent> <newpage/> <indent string=" "> 「眼鏡を掛けた黒髪の美少女が右ページに展開されたと思いますが……」</indent> <indent string=" "> 「マテ! どうして美樹だけアイコンの流用じゃ無いのよ!」</indent> "> <indent string=" 「胸の大きさが勝負の決めてってヤツだね!」</indent>

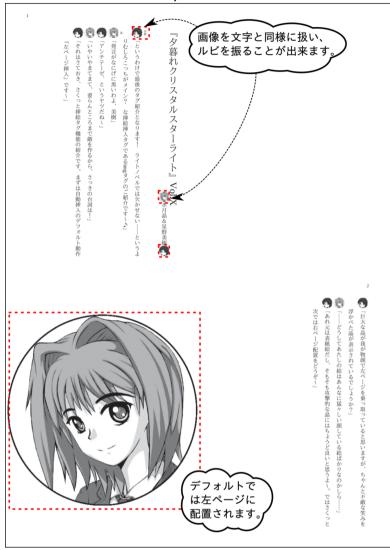
「……よく言った美樹……そこに直れ! 成敗してくれるわぁぁぁ<double>!!</double>」

</indent>
</margin><under>おしまい</under>

">

<indent string="

■ 出力例(class="illustration" & class="char")





■ 記述例(class="inline")

■ 出力例(class="inline")



7. テンプレート系タグ

7.1. define: 定義

■ 用途

定義値を定義します。

主にテンプレートへの値指定などを行うために使用します。

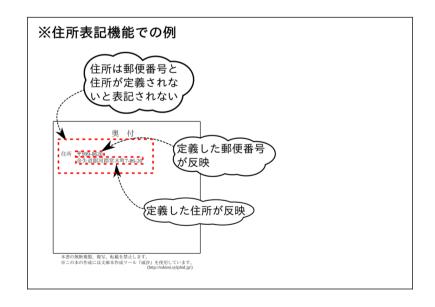
また、後述の value タグと組み合わせることで特定文字の置き換えなどを実現することも可能です。

■ パラメータ

オプション	説明
name	定義名を指定します。
value	定義値を指定します。 なお、定義値を要素として指定することも可能です。

■ 記述例

<!--デフォルトテンプレートに実装されている郵便番号・住所奥付表記機能への値指定--><!--(これら値が指定された場合のみ、表記が有効化される)--><define name="POSTALCODE" value="999-8620"/><!--値指定--><define name="ADDRESS">金失道銀河郡常木町7-86-20</define><!--要素指定-->



7.2. value: 定義展開

■ 用途

定義されている定義値を展開します。

特定の記号の置き換えなどに使用することが出来ますが、分かり難くなるため、本文での多用はお 勧めしません。

また、『&定義名:』という指定でも定義展開を行うことができます。

(内部処理で value タグに置換しています)

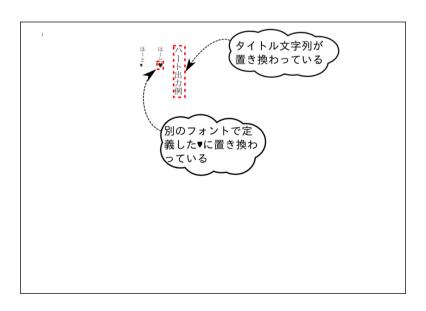
■ パラメータ

オプション	説明
name	展開する定義名を指定します。

■ 記述例

<fontmap name="takaom" file="fonts/TakaoExMincho.ttf"/> <! - - 代替フォント指定 - -> <define name="heart">♥</define> <! - - 置き換え定義 - -> <define name="title">ハート出力例</define><!--表題定義-->
 <value name="title"/><!--表題出力-->

 は~と&heart;
<! -- TakaoExに置き換えると全角になる-->
 は~と♥
<!--標準IPAフォントの場合、半角字形になる-->



改版履歴

日付	説明
2021/12/31	初版
2022/02/21	paling タグに type="img" src オプションを追加(開発版のみ) 出力イメージを追加
2022/03/21	img タグに QR コードオプションを追加(開発版のみ)
2022/03/22	number タグ(開発版のみ) format オプションに『alphanumeric』『normal』パラメータ追加 digit オプションを追加 define オプションを追加
2022/03/27	number タグ(開発版のみ) mode オプションを追加、define オプションを削除(入れ替え)
2022/05/29	img タグの QR コードオプションを正式化 number タグの mode オプションを正式化 paling タグの type="img"オプション定義を正式化